

平成22年度末 鉄軌道駅における段差解消に向けた対応状況について

平成23年3月31日現在

事業者名	1日あたりの平均利用者が5千人以上の駅					(参考) 全駅		
	駅数 A	段差が解消されている駅			駅数	全駅		
		B	B/A * 100	C		C/A * 100	うち基準に適合している設備により段差が解消されている駅	
JR北海道	32	29 [30]	(91%) [94%]	26 [28]	(81%) [88%]	465	40	36
JR東日本	468	408 [417]	(87%) [89%]	404 [413]	(86%) [88%]	1,676	621	607
JR東海	84	78 [78]	(93%) [93%]	74 [74]	(88%) [88%]	399	193	112
JR西日本	285	254 [258]	(89%) [91%]	244 [248]	(86%) [87%]	1,221	546	416
JR四国	6	6 [6]	(100%) [100%]	6 [6]	(100%) [100%]	259	149	43
JR九州	66	59 [59]	(89%) [89%]	59 [59]	(89%) [89%]	564	159	135
JR旅客会社6社 小計	941	834	(89%)	813	(86%)	4,584	1,708	1,349
東武鉄道	111	106 [106]	(95%) [95%]	104 [104]	(94%) [94%]	196	125	115
西武鉄道	78	77 [77]	(99%) [99%]	75 [76]	(96%) [97%]	91	82	79
京成電鉄	48	46 [46]	(96%) [96%]	46 [46]	(96%) [96%]	65	50	50
京王電鉄	64	64 [64]	(100%) [100%]	62 [64]	(97%) [100%]	68	68	66
小田急電鉄	68	68 [68]	(100%) [100%]	68 [68]	(100%) [100%]	70	70	70
東京急行電鉄	87	86 [86]	(99%) [99%]	86 [86]	(99%) [99%]	88	87	87
京浜急行電鉄	70	70 [70]	(100%) [100%]	70 [70]	(100%) [100%]	72	71	71
相模鉄道	23	23 [23]	(100%) [100%]	22 [23]	(96%) [100%]	24	24	23
名古屋鉄道	75	73 [73]	(97%) [97%]	71 [71]	(95%) [95%]	272	236	185
近畿日本鉄道	119	116 [116]	(97%) [97%]	95 [95]	(80%) [80%]	292	244	127
南海電気鉄道	49	40 [41]	(82%) [84%]	38 [41]	(78%) [84%]	99	57	47
京阪電気鉄道	55	52 [54]	(95%) [98%]	50 [52]	(91%) [95%]	88	73	59
阪急電鉄	82	78 [79]	(95%) [96%]	71 [72]	(87%) [88%]	86	82	72
阪神電気鉄道	41	37 [37]	(90%) [90%]	35 [35]	(85%) [85%]	49	41	37
西日本鉄道	22	20 [20]	(91%) [91%]	18 [18]	(82%) [82%]	72	57	25
大手民鉄15社 小計	992	956	(96%)	911	(92%)	1,632	1,367	1,113
東京地下鉄	137	99 [105]	(72%) [77%]	48 [98]	(35%) [72%]	137	99	48
札幌市交通局	46	44 [46]	(96%) [100%]	41 [43]	(89%) [93%]	46	44	41
仙台市交通局	16	16 [16]	(100%) [100%]	16 [16]	(100%) [100%]	17	17	17
東京都交通局	96	85 [90]	(89%) [94%]	44 [49]	(46%) [51%]	98	87	45
横浜市交通局	39	38 [39]	(97%) [100%]	38 [39]	(97%) [100%]	40	39	39
名古屋市交通局	80	77 [80]	(96%) [100%]	75 [77]	(94%) [96%]	85	82	80
京都市交通局	29	29 [29]	(100%) [100%]	29 [29]	(100%) [100%]	31	31	31
大阪市交通局	99	99 [99]	(100%) [100%]	99 [99]	(100%) [100%]	100	100	100
神戸市交通局	20	20 [20]	(100%) [100%]	14 [14]	(70%) [70%]	25	25	19
福岡市交通局	27	27 [27]	(100%) [100%]	27 [27]	(100%) [100%]	35	35	35
地下鉄10社局 小計	589	534	(91%)	431	(73%)	614	559	455
JR、大手民鉄、地下鉄 小計	2,522	2,324	(92%)	2,155	(85%)	6,830	3,634	2,917
中小民鉄、路面電車等 小計	291	279	(96%)	246	(85%)	2,671	1,503	875
鉄軌道全体 合計	2,813	2,603	(93%)	2,401	(85%)	9,501	5,137	3,792
(参考) 平成21年度末の数値	2,808	2,329	(83%)	2,160	(77%)	9,484	4,613	3,504

- 注) 1. 「基準」とは、公共交通移動等円滑化基準第4条をいう。
 2. 「基準に適合している設備により段差が解消されている駅」とは、開閉とびらに窓があり、かご内に手すり等が設置されているエレベーターなどにより、乗降場ごとに、段差が解消された経路を1以上確保している駅をいう。
 3. 「段差が解消されている駅」とは、乗降場ごとに、高齢者、障害者等の円滑な通行に適する経路を1以上確保している駅をいう。
 4. 新幹線が乗り入れている在来線の駅であって、在来線の駅を管理する事業者が新幹線の駅も管理する場合、当該在来線の駅に新幹線の駅も含み、全体で1駅として計上している。新幹線の駅と在来線の駅を別々の事業者が管理する場合は、別駅として計上している。
 5. 2以上の事業者の路線が乗り入れる駅であって、事業者間の乗換改札口が設けられておらず、改札内で相互乗換えができる場合は、全ての事業者の駅を含めて全体で1駅として計上している。この場合、代表して1事業者に当該駅を計上している。
 6. ()内は、5千人以上の駅に対する割合(%)を示している。
 7. []内は、23年度末の見込みを示している。